

ひびき

教育目標：「なかよく かしく たくましく」
3本柱：さわやか挨拶 聞き方・話し方名人 いきいき運動

多治見市立共栄小学校 H29. 9. 29

かがやいた「共栄っ子」

校長 楯 明夫

星野富弘さんの詩。

**「幸せという花があれば、その蕾のようなものだろうか。
辛いという字がある。もう少しで幸せになれそうな字である。」**

共栄小学校の子どもたちが、たくさんの素晴らしい姿を見せてくれた運動会が終わりました。練習では、何度も何度もやり直しをしながら、それでも一生懸命に取り組む姿がありました。うまくいかない事を指摘され、「辛いなあ」と思うこともたくさんあったでしょう。運動会終了後にあいさつをする応援リーダーの子たち、その言葉に拍手を送る子たち、子どもたちのとても幸せそうな表情を見ることができ、教師も幸せを感じずる時間帯でした。きっとその中で子どもたちは、

**「全力で取り組めた自分」 「仲間と協力できた自分」
「辛くても頑張れる自分」 「仲間を励ませる自分」
「仲間にかけてもらう言葉をうれしいと感じる自分」**

等、新しい自分に出会えたのではないかと思います。そして、同時に仲間の素晴らしい所をたくさん見つけ、絆が深まったことと思います。

人との関係の中で、一生懸命自分を磨くことが、きっと素晴らしい自分に出えるのだという気付くことができたなら、豊かな人生につながるのだらうと子どもたちに思わせてもらえた運動会でした。心から大きな拍手を送りたいと思います。

保護者の皆様の熱い応援、後片付けへ協力、PTA役員の皆さんの、写真、会場整理等のご協力、とても助かりました。こうした支えがあってこそ、共栄小学校の教育は支えられているのだと思います。本当にありがとうございました。

